

SSKP

第103号

# はれのちくもり

ピアス通信別冊第27号

はれのちくもり別冊ピアス通信では、就労移行支援事業所ピアスの訓練やイベントを中心に、多摩棕櫚亭協会の「働く」ことに関する情報を皆様に発信していきたいと思っております

## 東電ハミングワーク株式会社 清掃研修の報告

今回、日野市にある東京電力株式会社の特例子会社の東電ハミングワーク株式会社にて清掃のノウハウや技術の勉強や意見交換を目的に研修を受ける機会を頂きました。ピアスからは、環境整備の職員の中野さんと浅野さんが参加しています。中野さんより、研修の感想としてアンケートに答えて頂きました。

### 1. 研修に参加してみてピアスで実際に取り入れてみようという点はありましたか？

具体的にどのように取り入れるかはまだまだ考えなければいけません、「挨拶」の大切さを実感しました。また、どうしてその作業をするのかをできるだけ説明することも大切だと思いました。そして、東電ハミングワークさんではチームで作業することも多く、個人の作業だけではなく、場合によっては集団で作業をする際の感覚を身に着けるのも大切だと感じました。

### 2. 特例子会社の清掃とピアスの清掃で大きく違う点はありましたでしょうか？

職員は清掃作業にはあまりかわらず、どちらかという見守るような立ち位置という印象を受けました。ミーティングも「スタッフ」（実際東電ハミングワークさんでは「メンバーさん」とか「利用者」ではなく「スタッフ」と呼ばれていました）の方たちだけにまかせたりしていました。

また、初めからマニュアルがあるわけではなく、必要だと感じた時に「スタッフ」自身でマニュアルを作ったり、さらにそれを後輩に伝達したりしていました。

### 3. 研修を終えて、清掃部門に入るピアスのメンバーに一番伝えたいことはなんですか？

研修先では皆さん、生き生きと働かれておりました。ピアスの清掃のトレーニングでも、働くことで得られる「やりがい」や「充実感」を感じて、将来に活かしてもらえると嬉しいです。順調にはいかないこともきっとあるとは思いますが、少しずつステップアップ（時にはダウンしてもいいと思います）していけば、就職に近づいていけると思います。たとえ、結果的に清掃の仕事につかなくても、きっと役立つ技術が身に着くと思います！

(ピアス職員 中野)

## 「環境衛生講習とは」

ピアスの環境部門の中の大きな柱のひとつとして「環境衛生講習」があります。これは外部の清掃のプロの方を招いて2～3か月に一度開催しているものです。

この講習の主な目的は清掃の魅力を知ってもらうことと技術の向上にあります。

日々のトレーニングの中で魅力も技術も伝えるようにこころがけていますが、私たち職員もプロではありません。その意味で実際の清掃現場で働かれているプロの方から直接話を聞くことで新たな発見や気づきが生まれています。次のページに講師の増村さんとメンバーのアンケートを紹介しています。

(ピアス職員 浅野)



## 環境衛生講習 講師 増村さんへのアンケート

### 1. そもそも環境衛生講習とは清掃のやり方を教えるだけではないイメージがありますが、どのようなことを教えているのですか？

業者が行う特別な器具を使った清掃だけではなく、昨今の掃除ブームにつながるような日常の清掃も立派な清掃業に成り得ます。技術、効率の視点から日常、特殊に関わらず、一つひとつやり方を伝え、それが楽しさ、遣り甲斐につながればと思っています。



### 2. 清掃の仕事において、一番難しいことはなんですか？

お客様の満足につながるように完成度を高めることや、清掃作業中のリスク管理や作業の時間配分にも気を配らないといけないところが難しいです。

### 3. 環境部門に入っているメンバーに伝えたいことはありますか？

まず日常の活動で既に立派な一つの清掃業をしていることを意識してほしいです。その上で一つひとつ技術、リスク管理、周囲を見る事を覚えていけばいいだけです。遣り甲斐を感じられるまでになれば楽しくなり、また精神衛生上にも良い影響を与えてくれます。

### 4. ドラマーだと伺いましたが、どのような活動をしていますか？

自身のバンドユニットでのCD発売、ライブをしています。また、サポートでのレコーディング、ライブもしています。他にもドラムのレッスンなど活動は多岐に渡りますが、気になる方はネット等でチェックしてみてください。  
<https://twitter.com/breadblues>

## 環境衛生講習 参加者 アンケート

### Q.1 今回の講習でどんなことを学びましたか？

- 日常清掃と定期清掃の概要と違いを教えてくださいました。また、ポリッシャーの操作とワックスがけを実際に教えてくださいました。
- 清掃の用語について。(例えば「〇〇清掃」という言葉は現場によって意味が変わる可能性があるので現場に従うのが良い、等) また実践編としてポリッシャーの役割や操作方法。ワックスの役割、塗り方。(スタッフ意見)

### Q.2 講習を受けた前と後では、何か意識の変化はありましたか？

- 床清掃はポリッシャーかワックスがけでさらにきめ細かく汚れを落とせるのだと知り気が引き締まりました。
- 学生の時にポリッシャーをかけているのを見たり、ワックスがけ等を自分でやりましたが、きちんとしたやり方でやると、やった後がこんなに違うのかと思いました。(特にワックスがけ)

### Q.3 特に印象に残った言葉や内容等がありましたら教えてください。

- ポリッシャーはあくまでも「美化」に特化した清掃用具であり、「維持」という意味では日常清掃も大事。それがしっかり出来ていれば、ポリッシャーの回数も減らせる。衛生面やコスト的な意味でも、日々行っている清掃作業が重要な仕事である事が再確認できてよかったです。(スタッフ意見)

## あなたの知らない環境整備 職員 浅野さんへのインタビュー



### Q.1 どのような人が清掃の仕事に向いていると思いますか？清掃トレーニングではどのようなことが身につくか教えて頂けますか？

一人仕事が多いので、一人で仕事がしやすい人が向いています。人がやりたくないことをやって、感謝されることがあります。自分がやっている仕事が感謝に繋がる意識を持って、そして感謝されることがやりがいに繋がる人が向いていると思います。あと、綺麗にしたいと思う人も向いていると思います。

身につくことは、体力や清掃スキルを身に付けることができ、その結果、自信が付くと思います。そして、他の部門と大きく違うのは、清掃の技術を持ってそのまま就職に結びつくことができることです。

### Q.2 その場の空気を壊さずに人に混じって清掃を行うのは、とても難しいことだと思いますが、どのように指導されていますか？それと、清掃の仕事で特に重要なコミュニケーションは何かありますか？

清掃は、きれいにする（美化）事と安全は同じだと捉えています。ですので、指導する時には、仕事をしている人がいる場合は、仕事をしやすく安全を確保しながらきれいにしてくださいと伝えています。また、声掛けや「こんにちは」や「お疲れ様です」という挨拶も特に重要だと思います。単純に技術だけではなく、挨拶することでしっかり清掃できている、という評価に繋がっています。

### Q.3 トレーニングの中で、清掃の技術面で、大変なことはありますか？もし、一番清掃するのが難しい清掃箇所があれば教えて下さい。

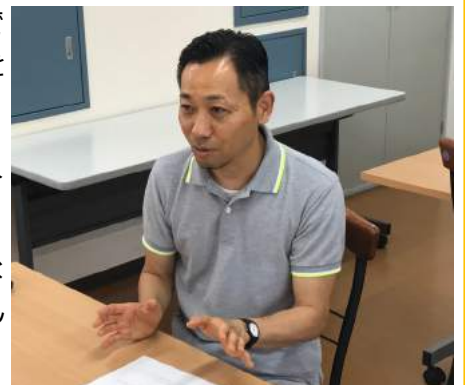
清掃で難しいことはお願いしたところ以外に気が付いてそこを清掃する事です。こちらからお願いしている仕事をやってもらう、プラス、こういうところがありますに気付けることができるかどうかの仕事をする上で大切だと思います。技術より清掃感覚、気付きができるかが重要になります。

### Q.4 将来、清掃の仕事に就こうと考えている方に何かアドバイスがあればお願いします。

この部門ですごく意識している事は、清掃の仕事は自分の誇りに思える仕事なのだということです。それは他の人が持っていない技術を自分が持っているとか、他の人がちょっとやりたくない汚い仕事でも絶対に必要な事を自分がやっているのだということです。ですので人の役に立っている、社会の役に立っているという意識を持って仕事についてもらえたらなと思います。

清掃の求人は少ないというイメージはありますが、短時間の求人もあり、実は実際清掃で就職した人も多く、実習先も多いんです。

求人が清掃しかなかったからとか、病気で清掃の仕事しか出来ないからではなく、自分は社会の中でしっかり役に立つ位置にいるんだという意識を持ってもらえれば、一番うれしいです。



# お知らせ

## 夏場の体調管理 【熱中症予防】

7月、8月も過ぎ、真夏の盛りは過ぎましたが、まだまだ暑い時期が続いています。皆さんは、体調など崩されていないでしょうか。熱中症に関する情報は、様々なところから発信されていますが、この紙面でも熱中症の予防に関する情報をお知らせしたいと思います。

熱中症予防の第1のポイントは、「暑さを避ける」です。室内では、我慢をせずにエアコンを適切の使って、室温の調整をしましょう。外出先では、日傘や帽子、日陰の利用、こまめな休憩が大事です。また、からだの蓄熱を避けるために、通気性の良い服や冷たいタオル、保冷剤等の使用も有効です。

第2のポイントは、こまめな水分補給です。喉のかわきを感じていなくても、水分補給をしましょう。また、塩分の補給も大事になります。

熱中症の症状には、次のようなものがあります。

- ◆めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
- ◆頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う
- ◆重症時は、返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い

熱中症は、高温多湿な環境に長時間いることで引き起こされてきます。重症になると命の危険に関わってきますので、これらの症状が出て、具合の悪くなる前から対策しておくことが大事になってきます。

熱中症が疑われる人を見かけたら、次のようにしましょう。①涼しい場所に誘導する。②氷等でからだを冷やす。③水分補給をする。

自分で水分補給できない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう。

より詳しい情報は、厚生労働省のホームページにアクセスしてみてください。

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/nettyuu/](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/)

## 編集後記

●今号のピアス通信では、環境整備部門を特集しました。環境整備の特色をお伝えすることができていたら幸いです。次号では、厨房を特集予定ですのでお楽しみにして下さい。(S)



【編集】 国立市富士見台1-17-4  
社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会  
就労移行支援事業所ピアス内  
はれのちくもり編集委員会  
Tel 042-575-5911  
【発行】 特定非営利活動法人  
障害者団体定期刊行物協会  
〒157-0072 世田谷区祖師谷3-1-17-102  
Tel 03-6277-9611  
【定価】 100円